研究論文

「リスクと保険」用テンプレートファイル

吉田靖\* 保険太郎† 年金花子‡

2004年4月1日投稿

2004年9月30日受理

概要

　ここは概要の本文である．本稿は「リスクと保険」のためのワード版テンプレートファイルVersion1である．Wordファイルにて投稿の際は本ファイルを使用されたい．詳しい使用方法は本文に記述した．なお，概要は400文字となっている．

**キーワード：**「リスクと保険」，テンプレート，Word，TEX

1. はじめに

　「リスクと保険」は，Wordファイルでの投稿とTEXでの投稿を受け付けている．したがって，テンプレートは，印刷時に両者の差がなるべく小さくなるような設定をする必要があり，投稿の際は，本設定をお守りください．使用するソフトはWord2003[[1]](#footnote-1)を想定している．

　使用する書式は既に設定してあるので，通常の場合ユーザーは書式を選択するのみでよい．

1. 用紙とタイトル部の設定

　原稿は，タイトル，著者名，投稿・受理日付，概要，キーワードからなる１段組の部分と，本文，参考文献からなる２段組の部分に分かれる．英文タイトル，英文著者名，英文概要は印刷時に別途製版するので，本テンプレートを使用する必要はない．英文関係の原稿は別ファイルにて提出されたい．

　まず，原稿用紙はA4サイズで縦方向に使用する．

　次に，１段組部分のページ設定の「文字数と行数」についての主なものとしては，文字数を46文字，字送りを9.2ポイント，行数を32行，行送りを18ポイントにする．

「余白」については，上55㎜，下38㎜，左30㎜，右30㎜とする．

* 1. タイトル

　１行目には種別を表示する．種別は，「研究論文」，「展望論文」，「ケーススタディー」，「書評」，「その他」のうち，いずれか一つである．スタイルは「論文種別」を選択する．このスタイルはMS明朝，16ポイントとなっている．その前後に直線を一本ずつ行の中央に描画する．直線の太さは0.75ポイントとする．

\*明海大学不動産学部　〒279-8550　浦安市明海8

email: yyoshida@meikai.ac.jp

†リスク大学アクチュアリー学部　〒123-4567　中央区中央1-2　email: hoken@risk.ac.jp

‡勝どき大学保険学部　〒234-5678　築地区市場3-4-5　email:hanako@kachidoki.ac.jp

　2行目以降に論文タイトルを表示する．スタイルは「論文タイトル」である．ここではMS明朝，16ポイントである．

* 1. 著者名

　タイトルから１行あけて著者名を表示する．スタイルは「論文著者名」である．設定はMS明朝，11ポイント，中央揃えとなっている．著者が複数いる場合，著者名と著者名の間には半角の空白を7文字入れる．著者の所属・連絡先は脚注で表示する．ただし，Wordの脚注機能を使用し，かつその後で２段組にした場合，自動的に改ページされてしまうので，ここでは，脚注機能は使用しない．脚注の記号はTEXの標準機能とそろえるため，「\*」，「†」，「‡」の順とする．

　脚注部分は２段組になっているため，本文の脚注が左側にある場合は，その脚注の番号の前で改行を行い，著者の脚注表示部分を確保する．空いたスペースにテキストボックスを挿入し，脚注の内容を記述する．脚注の内容は，著者の所属，所属郵便番号・住所，E-mailアドレスとする．この部分の文字は7.5ポイントで文字間隔を0.3ポイント広くする．

　本文の脚注が該当位置にない場合もテキストボックスを使用し，脚注機能を代替する．この場合，本文と脚注の区切り線が描かれないため，Wordの描画機能により，直線を描く必要がある．

* 1. 投稿・受理日付

　著者名の次の行には投稿日付を西暦の年月日で表示する．さらに次の行に，論文が受理された後，事務局から連絡があった受理年月日を表示する．

* 1. 概要

　投稿・受理日付の後に，2行改行し，スタイルの「論文概要見出し」を用いて，「概要」と表示させた後，「論文概要」スタイルを用いて，概要の内容を400字で記述する．

* 1. キーワード

　概要の後，１行改行し，スタイルの「論文キーワード見出し」を用いて，「キーワード：」と表示させた後，「キーワード」スタイルを用いて，キーワードを5語以内で記述する．

1. 本文

　本文以降は2段組とする．このため，「ページ設定」機能の「設定対象」を「このセクション」にして2段組とする．

　「余白」については，上45㎜，下36㎜，左30㎜，右30㎜とする．文字は9ポイントとする．

* 1. 章見出し

章見出しでのスタイルは「1　論文　章見出し」を使用する．章見出し1行で本文2行分となる．フォントはMSゴシック太字である．

* 1. 節見出し

　節見出しでのスタイルは「1.1　論文　節見出し」を使用する．節見出し１行は本文と同じである．フォントはMSゴシック太字である．

* 1. 小節見出し

　小節見出しでのスタイルは「1.1.1　論文　小節見出し」を使用する．フォントはMSゴシック太字である．

* 1. 脚注

　Wordの脚注機能を使用し，ページ内に表示する．番号は数字のみを使用する．脚注の文字は7.5ポイントで文字間隔を0.3ポイント広くする．

* 1. 参考文献

　主な設定は本文と同じであるが，同じ文献中の2行目は１字下げるため，ぶら下げで1字を設定する．イタリックにする部分はユーザーによる設定が必要である．

1. 投稿規定
   1. 論文のテーマ

　保険・年金の数理，保険・年金の経済分析，リスク理論とリスク管理などに関するもので，アクチュアリー実務の発展に寄与するもの．また，これらの分野の教育方法の改善に関する論文．未公刊のものに限る．

* 1. 投稿種別

　投稿の際に，以下の種別から一つを選ぶ．なお，レフリーまたは編集委員会の判断により，種別を変更する場合もある．

* + 1. 研究論文

　4.1のテーマに沿った独自の研究成果．レフリーによる査読あり．

* + 1. ノート

　上記｢研究論文｣に比べて，独自性の点十分ではないが発表する価値のあるもの．レフリーによる査読あり．

* + 1. 展望論文

　特定の分野に関してこれまでに発表された一連の研究を，著者の見解により体系化して，総括的に解説しているもの．レフリーによる査読あり．

* + 1. ケーススタディー(事例研究)

　現実に発生した特定の事例や問題に関して，理論的な観点をもとに著者の見解を加え，どのようにして問題を解決できたかを解説することにより，他者の研究あるいは実務の参考になるもの．レフリーによる査読はないが，編集委員会で採否を決定する．

* + 1. 書評（編集委員会により採否決定）

　他者の公刊された著作物に関し，その解説と批評を加えたもの．レフリーによる査読はないが，編集委員会で採否を決定する．

* + 1. その他

　上記　4.1に示された分野における教育方法の革新や提案・解説，内外研究動向など．

注意事項

1. 論理的な論旨展開を行うこと．
2. 著者独自の貢献の範囲と，他の著作物・先行研究からの引用の範囲を明確に区別すること．
3. 提出された論文は，編集委員会が依頼した匿名のレフリーによる審査報告書を検討し，掲載の可否を決定する．この際，著者に補足説明や論文の修正が条件として求められる場合がある．
4. 個人名または個人の連名により投稿すること．
5. 謝礼はないが抜き刷りを贈呈する．
6. 投稿資格は限定しない．
7. 原稿は和文とする．

投稿期限

　９月末．査読などが順調に進んだ場合，当年度内に発刊される号に掲載される．

送付先

〒104-6002 東京都中央区晴海　1-8-10

晴海アイランド　トリトンスクエアオフィスタワーＸ棟２階

日本アクチュアリー会　「リスクと保険」論文募集係

メールの受付：riskhoken@actuaries.jp

※　従来のアクチュアリージャーナルへの投稿と区別できるよう，必ず「リスクと保険」論文募集係へ送ること．

採択された場合の取り扱い

　著作権は，日本保険・年金リスク学会及び社団法人 日本アクチュアリー会に属する．「リスクと保険」に掲載されるほか，タイトル，著者名，要約，キーワードはホームページで公開される予定である．また，全文は両者の会員に限り，ホームページでＰＤＦファイルとして閲覧可能とする．著者が自己の著作物を複製，転載，翻訳，翻案等の形で利用することは任意であるが，掲載先に出典を明記すること．

1. 執筆要項

　詳細に関しては，日本保険・年金リスク学会のホームページに例示し，スタイルファイルも掲載する．（URL: http://www.jarip.org/）

* 1. 投稿用紙

　A4サイズで50ページ以内（含図表）．本文，注，参考文献は２段組．スタイルファイルに基づき，Microsoft WordまたはLaTeX2εにて原稿を作成する．LaTeX2εの場合は，PDFファイルに変換してから送付する．送付の際，印刷した「ハードコピー」と，原稿を収めたフロッピーディスク，MOディスクまたはCD-Rディスクを提出する．なお，E-mailにてファイルを送付してもよいが，ハードコピーは別途必ず提出する．

* 1. 論文の構成

　タイトル，著者氏名，所属名，連絡先（住所およびE-mailアドレス），和文要約400字以内，キーワード５語以内，本文，注，参考文献の順で構成する．

* 1. 英文

　英文タイトル，英文著者氏名，英文所属名，英文連絡先，300語以内の英文サマリーを5.2とは別に添付．

* 1. 見出し番号

本文の見出し番号は，章に関しては１．，節に関しては1.1のように付ける．つまり

1

1.1

1.1.1

のようにする．

* 1. 図表

　図表・グラフ等は原則として本文中に記載するが，それが数ページに及ぶ場合には，末尾にまとめて記載する．タイトルには，「図1」「表1」のように通し番号をつける．図表は他者の図版を使用する場合は著作権者の了解を得，出典を明示する．表のタイトルはその上部に，図のタイトルはその下部に書く，説明文はいずれも下部に書く．

* 1. 数式

　数式については，できるだけ簡潔な表現を使うこと．変数名は通常，半角イタリックを用いる．番号を付ける場合は，数式の右側に･･･(1)，(1-1)のようにする．

* 1. 脚注

　脚注はページごととする．本文中の該当箇所は肩付きの通し番号を付ける．

* 1. 引用

　他の著作物から引用する場合は，本文中または注の該当箇所に著者名［西暦］のようにする．

　例１　守田[1973]

　例２　Gallo and Lockwood[1995]

参考文献は，基本的に引用した文献のみで構成する．参考文献リストは，論文末にまとめて掲載する．日本語文献（姓のあいうえお順），外国語文献（Family NameのABC順）にする．著作名，雑誌名は『』，論文名は「」で括る．英数字，括弧[]，コロン（：）は半角文字を使用する

例 和文文献

保険一郎[2004]，「保険業におけるリスク管理」，『保険年金ジャーナル』，Vol.1，No.1，15-25頁．

守田常直[1973]，『保険数学(上)』， 生命保険文化研究所．

例　欧米語文献の場合

単行書：著者・編者名[刊行年],　著作名, 発行所　（訳書）.

論 文：著者名[発行年], "論文名," 雑誌・収録書名, 巻, 号, 頁（訳書）.

Gallo, J. G. and L. J. Lockwood[1995], "Determinants of pension funding and asset allocation decisions", *Journal of Financial Service Research*, Vol.9,No.2(June), pp.143-158.

Gerber, H. U., W. Neuhaus, and S. H. Cox[1997],　*Life Insurance Mathematics*, Spring-Verlag, 3rd Edition.

注意点：

・著者名（複数の場合は第一著者）は「ファミリーネーム，ファーストネームのイニシャル」の順番で記述する．

・著作名，雑誌名は原則として斜体（イタリック体）で記述する．

インターネット上の文献・資料等の場合

　　著者名[発行年]「タイトル」URL（アクセス日時）

* 1. 文体

　文体は口語体の「である調」，文字は新仮名遣い，当用漢字を原則とする．

* 1. 文字

　句読点は「，」と「．」とする（ただし，邦文の場合は全角文字とする）．英数字は半角文字とする．半角カタカナは不可．

* 1. 製版方法

　本文・図表とも著者原稿のまま写真製版する．最終原稿では頁番号をふらずに提出する．

1. マイクロソフト社の登録商標です． [↑](#footnote-ref-1)